

単元名 おって たてたら(工作)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 紙を折ったり切ったりして立たせ、いろいろな形を見付けながら、工夫して工作に表すことができる。
 (2) 紙を折ったり切ったりして立てた形から考え、表したいことを思い付くとともに、造形的な面白さに気付いたり、楽しさを感じたりすることができる。
 (3) 紙を折って立てた形から思い付いたものをつくることを楽しもうとする。

標準的な展開例

01080205_001

【準備等】画用紙、模造紙、色画用紙、両面色画用紙、サインペン、クレヨン、パス、のり、はさみ、セロハンテープ

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 紙のいろいろな立て方を試す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、紙のいろいろな立て方を知る <ul style="list-style-type: none"> ・恐竜 ・鳥の親子 ・電車とトンネル ・ロケット ★紙を折って立てた形から思い付いたものをつくろう ○いろいろな折り方、切り方、立たせ方を試しながらつくりたいものを見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・この折り方でも立つよ。 ・これは、シーソーみたいだね。 ・ここを切ったら、立つかな。 <p>2～3 紙の立て方や切り方を試しながら、表したいものをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○折ったり、切ったりして立てた紙が、もっと楽しくなるように、飾り方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・色を塗って、ロケットに見えるようにしよう。 ・ここを切って、面白くしよう。 ・余った紙を貼って、ネクタイにしたよ。 ○展示場所への置き方や並べ方を考えたり、友達の作品からさらに発想を広げてつくったりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ここに木があるといいね。 ・ここは「私たちの街」にしよう。 ・山だから動物がいっぱいだね。 ○作品が並んだ形の面白さについて話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書1・2上 P.22, 23 ・紙は折ると立つことを示し、はさみで切って形を変え、「いたらないな」「あったらいいな」と思うものをつくることをつかませる。 ・教科書P.23「かみのたたせかた」のいくつかの立たせ方、つくってみたい形に合った立たせ方を試してみるよう伝える。 ・はさみの扱いには十分注意するように伝える ・偶然できた形から発想を広げていくことを楽しませる。 ・児童の思いを大切にしながら、形が立ち上がるような折り方や切り方を助言する。 【評】紙の折り方や切り方を試す学習活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】学習活動を通して、紙の折り方や切り方を試しながら、表したいことを思い付く「思考・判断・表現」を評価する。 ・パスやペン、切り取った紙などの使い方を工夫し、考えたり思い付いたりしたものをつくるよう助言する。 ・作った作品を置いたり並べたりできる広いスペースを確保する。 ・できたものを置きながら、新しくつくりたいものを思い付くことができるようにする。 ・折り方の都合により、立てられない作品には接着テープを使うものよいので、準備しておく。 ・「私たちの街」「山と海」などのテーマを設定し、展示場所を設けることで、発想が広がるようにする。 【評】作品を通して、紙の立て方や切り方を理解し、試しながら表したい形をつくる「知識・技能」を評価する。 ・展示場所を見ながら、友達の作品のよいところを伝え合うように促す。 ・紙でつくった小さな人形に棒をつけたもの（ペープサート）を使って、作品の中で歩き回ったり、遊んだりして鑑賞してもよい。 【評】自分や友達の作品を見合う活動を通して面白い形や表現を感じ取る「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】